

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	「共に歩む」の法人理念の唱和は、毎朝・夕に実施してはいるが、職員の若年化もあり、更に理念の周知、徹底が必要課題である。	掲げられた理念をエビデンス(根拠)に基づく形で深く理解し、良質な介護スタッフとなる。	認知症ケアのみならず、身体介護面でも、基礎介護の見直しを図り、利用者様がより安楽に日常生活を営める環境造りへの研鑽を積む。	6ヶ月
2	26	各職員が1~2名の利用者様の担当となり、居室内の整頓から、モニタリング、カンファレンスを担当しているが、往々にして見過ごしてしまう面もある。	利用者様個々人を深く見返し、求める姿と現実の姿のギャップを縮めることのできるプランニングを身につける。	ケアプラン作成研修会の実施を委員会主体で行い個々人の観察手法を身に付けて行く。	6ヶ月
3	35	年二回の総合防災訓練、地震想定訓練、災害伝言ダイヤル利用方法等、有事への備えは常に心掛けてはいるが、地域を交え、地域と共に、地域レベルでの訓練は常に必要と考える。	有事の際の混乱に動じない動きが、地域を交えて常にできるようにする。	大規模な訓練は今後も一定時期に実施するが、常の「ミニ防災訓練」の充実を図ります。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。